



生徒会花壇整備活動  
令和5年5月



(発行)  
阿南高校同窓会  
(編集)  
会報編集委員会  
(印刷)  
龍共印刷(株)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

世界中での紛争や災害に心を痛め、新年早々の悲劇に驚き被災者に心からお見舞い申し上げます。平時からの防災の大切さを再認識する年明けとなりました。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症の状況が「5類」へ移行し、それまで続けられてきた対策が平時へと移行しました。

自粛を余儀なくされていた同窓会活動も再開され、会員同士の親睦が深まりました。

本年はさらに多くの支部での交流を期待しております。

県立高校再編の可能性も浮上していますが、これを前向きに捉え同窓会を通じて結束を強化し、各方面と協力し存続に向けて活動して参ります。

募集定員が40名でも単独で



## 母校存続に向けて

同窓会長 宮島久男

存続できる「中山間地存立特定校」の指定を目指し、阿南高校協力会の5町村と一丸となり支援をします。

初めての試みでありました同窓会・教職員・生徒会との「意見交流会」を開催しました。現状や課題について有益な情報を得ることができました。今後も積極的に関与し母校発展に寄与して参ります。

阿南高校は少人数での学びが特徴でありながらも、複数のクラブが県大会で輝き、地域との交流も積極的に行い絆が生まれています。

生徒たちは将来の夢に向かい頑張っています。これは先生方と皆様のご指導・ご支援のお陰と深く感謝申し上げます。

これからも夢のある学びの場を提供し、生徒が希望を胸に入学して来る学園になるよう、取り組んで参ります。

同窓会の皆様には引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年が皆様にとりまして幸多い年となります事を心より祈念いたします。

関東支部

活動再開 新たな誓い

関東支部長 木下 長義



皆様こんにちは。お元気で  
お過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルスの流行もようや  
落ち着いてきた令和5年は  
私も4年ぶりに故郷泰阜村と  
阿南の地を訪れることができ  
ました。

夏は本部同窓会の総会への  
出席、秋は、中学の同期会へ  
の参加でした。  
故郷は、銀漢<sup>ぎんかん</sup>芽えて水清く  
のごとく、静けさの中にその  
美しき姿を見せてくれました。

同窓会の総会には関東支部  
から4名が参加。本部長や  
校長先生のお話を伺い、日頃  
のご努力に頭の下がる思いで  
した。生徒数の減少が著しい  
中、母校の発展のために地元  
阿南町をはじめ各町村、同窓  
生、地域の方々の懸命な努力  
が続けられていることを本当  
にありがたく思います。  
10月には、生徒の皆さんと

先生、同窓生との語る会が開  
催され、支部からは2名が参  
加して、授業参観や郷土芸能  
の鑑賞、意見交換をさせてい  
ただきました。

関東支部独自としては、5  
月に29名が参加で4年ぶりの  
総会と懇親会を開催。最高齢  
90歳の大先輩が参加してくれ  
たことは大変な感動・感激で  
した。懇親会では、マイクや  
大きな声での企画は控えて、  
先輩後輩うちと

けて大いにお  
しゃべりを楽し  
むことができた  
ことは幸いでし  
た。

また、同月に  
は、南信同窓連  
（16校が加盟）  
の創立50周年記  
念式典・懇親会  
に8名の方が参  
加。伊那食品工  
業の社長のお話  
には信州に根を  
張る会社の良心  
と誠実さを感じ  
感銘を受けまし  
た。



同窓会員・生徒会役員・学校教職員の意見交流会  
令和5年10月28日

改めて思うに、高校時代と  
いうのは青春の青さと熱き  
心、少しばかり背伸びをした  
社会問題への関心、新しい人  
間関係の拡大など多彩なドラ  
マを伴う感動をもたらしてく  
れた時代でした。  
同窓会の活動もなかなか難  
しい局面を迎えつつあります  
が、この思いを胸に皆さんの  
ご協力をいただいで、今年も  
頑張っていきたいと思いま  
す。  
母校阿南高校と同窓会の発  
展を願って。

中京支部

地震被災者に思いを寄せて

中京支部長 金山 明弘



それは突然襲ってきた。正  
月元日、能登半島は巨大地震  
に見舞われ、多くの犠牲者と  
家屋の倒壊をもたらし、今も  
避難生活を余儀なくされてい  
ます。

犠牲者の哀悼と被災者には  
1日も早い日常が戻るよう、  
復旧復興を願わずにはいられ  
ません。

北陸には阿南高校同窓生も  
少なからず居られると思い、  
同窓会として今何ができるか  
を考え、会員からの要望もあ  
り、中京支部として苦しい会  
計ですが、義援金として5万  
円を送りました。

本来なら現地へ赴き、少し  
でもお手伝いすべきところで  
すが、義援金をもつての支援  
活動とさせて頂きました。

近い将来、南海トラフ巨大  
地震が襲来するとの予測があ  
り、我々も今一度自然災害に  
目を向けて、如何したら良い

のか再確認しましょう。  
さて、中京支部は今年も支  
部総会開催を予定していま  
す。

昨年はコロナ禍で4年振り  
の開催となり、当初はどれ程  
の人が参加してくれるのか大  
変心配しましたが、この10年  
来最高となる、30名を超える  
同窓生の参加を頂きました。

支部総会出席者は例年同じ  
顔ぶれとなりがちですが、今  
回は実に6名が初参加者で  
あったことに特色がありまし  
た。

これは単に案内状を送る  
だけでなく、同年会への開  
催勧奨の案内や、電話等によ  
る直接の働きかけが功を奏し  
たのかなと分析しています。

同年会としては、私ども「昭  
和41年卒」の同年会を、コロ  
ナ禍もあり実に6年振りに昨  
年名古屋で、恩師である成田  
先生にもご出席頂き、盛大に  
開催することができました。  
さあ皆さん、健康に十分に  
掛け、総会等に参加し大いに  
親睦を深めましょう。

関西支部

関西の新たな風景

関西支部長 佐々木 孔基



コロナ禍が収まり、同窓会活動が徐々に再開されていることを嬉しく思います。皆様と再び交流できることを心待ちにしております。

関西の生活も戻りはじめており、テレワークが定着するかに見えたものの、従来の勤務形態に戻る企業が増えていきます。出張も再開され、人々の移動が活発になっていきます。マスクの着用は会社や状況によって異なりますが、少しずつ無くなりつつあります。

しかし、電車内は最近のインフルエンザなどの流行のためか逆に増え始め、通勤時間帯には5割ほどがマスクを着用している光景も見受けられます。一番戻りが顕著なのは、大阪の中心地である梅田の地下の飲み屋街で、特に立ち飲み屋の繁盛ぶりは目を見張るものがあります。

関西支部では知恵を盛り込んだ活発な同窓会活動を目指しています。今年からはより工夫した交流活動を展開し、コロナ禍後4年間でできていなかった私の街紹介(街歩き)、懇親会、総会などを少しでも工夫して行いたいと考えています。

来年には皆様ご存じのように関西万博が開催されます。皆さん、計画を立てて関西に遊びに来てください。そして、皆さんが来られた際には、是非関西支部にご一報ください。お好みの場所をご案内します。



未来への展望を共に描き、阿南高校同窓会の活動を盛り上げていきましょう！

朝の練習や放課後の練習で南宮峡に響く「キャッチ、ロー」は、地域を活気づけ、南宮橋からの「頑張れ」と手を振って応援してくれたことが我々ボートマンの励みとなりました。

一方ダム湖は年々河川状況が悪くなり、部員の涙ぐましい努力にもかかわらず、練習不足、ボート転覆事故等でこれ以上の部活動は困難であるとして、1985年(S60)発足から32年で幕を閉じることに



第42回下諏訪レガッタに参加して

「我ら阿南のボートマン 桜吹雪を身に浴びて」

1953年(S28)南宮峡一帯が豊かなダム湖の出現により、ボートの練習場としては絶好の条件となり、ボートを阿南高校の目玉にしていくとボート部が誕生し「阿南クルーの歌」と共に学校や地域をあげての応援となりました。以来、飯伊地区唯一のクラブとして活躍し、インターハイや国体に出場して全国の強豪と肩をならべて競漕し「ボート阿南」の名を高めました。

取り戻し「あの頃が蘇ってきた」と青春を取り戻した気分になりました。もう一度漕いでみたいという気持ちから今年で11年目を迎えOBの方々や未経験の方を含めてメンバーも増えてきました。未経験の方も2〜3回漕ぐ練習を重ねレースに出場し「とても楽しかった。また来年も漕ぎたい」と笑顔で話していました。現在は、下諏訪ローイングパークでボートを借り諏訪湖のボート専用コースで練習を重ねております。(OB・33回生 勝又智広)

熊谷啓 著

# 『仏伝図からみるお釈迦さまの生涯』

出版される

同窓会関東支部 顧問 中島寛司(昭和29年卒)

昨年の8月末に、昭和31年阿南高等学校卒の熊谷啓さん(阿南町出身)から、彼の著書『仏伝図からみるお釈迦さまの生涯』(非売品)がやっと送られてきました。

の紙面をお借りし、ここに紹介させていただきます。

やっとなんと言ったのは、この2年ほど前に彼から相談があった、私も出版を強く勧めた一人だったので、心待ちにしていたからです。果せるかな期待以上の本であることから、一人でも多くの同窓生に読んで貰えたらと思い、同窓会報

から始まり、誕生、出家、修行、成道、伝道、涅槃、そして仏像誕生までのお釈迦さまの一生を、仏伝図の絵解き手法で分かり易く解説しています。それにお釈迦さまの前世物語(本生譚)四話で構成される222ページの本です。お釈迦さまの一生に起こった出来事を石に



燃燈仏授記 ペシヤワール博物館



托胎靈夢 インド国立博物館

また、掲載された90枚の仏伝図の写真の他、仏教聖地、史跡などを伝える70枚の写真を添えており、インドやパキスタン訪問時の記述も多く、紀行文としての興味も尽きません。とは言え、本書は学術書の範疇にされてもおかしく



初転法輪 パटना博物館

ない内容の濃い本であります。以上、著書の紹介をしましたが、本書を希望される方は、中島までご連絡ください。熊谷さんも了解・快託させていただきます。

〒225-10002 横浜市青葉区美しが丘3-166-157 中島 寛司 宛  
電話：045-1901-5037  
メール：nakajima@ivy.ocn.ne.jp  
※ご希望が多く、在庫オーバーの場合は、ご容赦方お詫びします。



13日間パキスタン国内を一緒に旅した専用車と運転手と通訳ガンダーラ(2015年11月)

表紙に使った写真  
22年の秋の彼岸に兄の墓参りに遠山和田の龍淵寺へ行った帰り、喬木村へまわって帰る(阿南町川田)途中に撮った写真です。出版社が「これがびつたりとする」と選んだものです。



2022.09

## 熊谷啓さん プロフィール

熊谷啓(くまがい けい) 埼玉県所沢市在住  
昭和13年(1938年)  
1月14日生  
長野県下伊那郡大下條村(現阿南町)に生まれる。  
大下條小・中学校、阿南高等学校卒業  
東京理科大学理学部物理学科を昭和36年(1961年)に卒業  
同年4月1日、丸紅飯田株式会社現 丸紅株式会社入社  
原子力部原子力課 配属  
平成10年(1998年)  
3月31日、同社定年退職

令和4年度 阿南高校同窓会 一般会計決算書

(令和4年6月1日～令和5年5月31日)

収入金額 2,016,803 円
支出金額 1,895,049 円
差引残額 121,754 円

1 収入 (単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 備考. Rows include 1 会費, 2 諸収入, 3 繰入金, 4 繰越金, and 合計.

2 支出 (単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 備考. Rows include 1 事務費, 2 会議費, 3 活動費, 4 基金, 5 返済金, 6 備品費, 7 予備費, and 合計.

一般会計他 ※永年会費特別会計 残額 11,439,695 円
※クラブ活動等助成基金 残額 2,505,197 円
※マイクロバス会計 残額 285,467 円
※70周年記念事業会計 残額 1,274,520 円
※50周年記念事業会計 残額 5,969,974 円

お知らせ

○ホームページの活用

学校や生徒の活動状況、同窓会の様子などはホームページ「長野県阿南高等学校」を開いていただくことが出来ます。

学校の様子や生徒の日々の活動状況等が随時更新され身近に見ることが出来ます。是非活用をしてください。

○第24回ゴルフコンペ開催

同窓会ゴルフコンペ(第24回)を令和6年6月8日(土)に飯田カントリー倶楽部において開催します。同級生や仲間の皆さんを誘い

合つて多くの方の参加をお待ちしております。
昨年(第23回)の成績
優勝 松澤 敏彦(31回生阿南支部)
準優勝 村松みつ子(22回生飯田支部)
第3位 朝倉 希叔(21回生中京支部)

○令和6年度定期総会

令和6年度の定期総会を次のとおり開催します。会員の皆様の出席をお願いします。
令和6年7月13日(土)
月日
時間 午前11時から
場所 阿南町「北条会館」

※問い合わせ等は同窓会事務局へお願いします。
阿南高校事務局
☎0260-22-2052

※年会費のお願い

「南宮学習塾」による生徒支援をはじめ母校の発展、同窓会活動の存続のため皆様のご協力をお願いします。

年会費は1,000円で郵便局専用の払込用紙でお願いします。永年会費を納入された方は免除扱いとなっておりますが、ご理解ご協力をいただければ有難く思います。

※郵便局専用払込先

加入者名 長野県阿南高等学校同窓会
口座記号番号 00540-6-42605

飯田下伊那郡内の中学校卒業生の推移と阿南高校の状況

Table with 6 columns: 飯田下伊那郡中学校卒業生数(人), 1990年(平成2年度), 2008年(平成20年度), 2018年(平成30年度), 2022年(令和4年度), 2035年(令和17年度). Rows include 学級数, 募集定員, 入学者数, 卒業生数.

人口減少により少子化の現状は大きな問題となっております。少子化対策は国や各自治体において積極的に政策が打ち出されておりますが、依然厳しい状況だと思えます。
中学卒業生数から見ると、かなり以前から減少傾向がみられ、中学校卒業生の減少は、高校改革の課題となり統廃合や存続問題となります。中山間地存立高校として魅力ある高校を目指し、地域と共に発展するよう、同窓会としても出来る限りの応援をしていくことが必要と感じます。

飯田下伊那郡の 中学校卒業生数の推移と 阿南高校の状況

校より  
学だより

地域を担い、支えていける人材を

学校長 牧内千明



会員の皆様には日頃より本校の教育活動のために多大なるご支援とご協力を賜わり、心より感謝申し上げます。

新年早々の元日、能登半島での震度7の地震・津波が発生し、翌日には羽田空港で海上保安庁機と民間機の航空機接触事故という大惨事と続き、被災された方々や事故に遭われた方々へ心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とそのご家族、ご親族の皆様からのご哀悼の意を表します。そして、一日も早い復旧を心からお祈りしたいと思いま

す。さて、長く続いたコロナ対応ですが、今年度5月の連休明けよりインフルエンザと同じ5類感染症に位置付けられ、また、その後感染症も落ち着きを見せており、基本的な感染症対策を行いつつ、学

校生活や教育活動も以前の状態に戻ってきております。7月の文化祭、10月の郷土芸能鑑賞会も制限なく開催され、同窓会長様や多くの同窓生の方にも来校いただき、発表や展示などの活動を見ていただく事ができました。郷土芸能鑑賞会後の午後には、今回初めて同窓会員の皆さんと本校生徒会役員・教職員の意見交流会を行い、生徒は生徒会役員を経験して苦労したことや大変だったこと、新役員からは新年度への抱負などを発表しました。機会があれば、このような交流会を行っていきたいと思います。その際にはまた参加いただけたら幸いです。

現在長野県では第4次の教育振興基本計画を策定し、『個人と社会のウェルビーイングの実現』一人ひとりの『好き』や『楽しい』、『なぜ』をとことん追求できる『探究県』長野の学びを『探究』をスローガンに『探究』を中核とした新たな学校づくりを目指して取り組んでおります。本校でも自分の知識や情報を総動員させ

ながら、問いに対して自分なりの考えをまとめ表現していくという探究学習に力を入れており、この一月末には全校で『探究学習成果発表会』を行いました。(同窓会長様をはじめ地域の方にも参観いただき、ありがとうございます。予測不可能な時代でも主体的に目の前の課題に向き合い、自らの人生を生き抜く力を育てていきたいと思いま

す。少子化をめぐる状況は、ますます深刻な状況を迎え、生徒減は本校にとってはとてつもなく大きな課題となっており、しかし、探究活動の地域の良さを理解し学ぶことを通し、生徒の希望する輝く未来の実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。これまでも地域に支えられ、地域とともに歩んできましたが、一人でも多くの生徒が、やがて地域を担い、支えていける人材となればと願っております。学校の様子をより知っていただくため、昨年度同窓会にもご協力いただきホームページをリニューアルしました。

頻繁に更新しておりますので是非ご覧ください。今後も本校教育の充実・発展に向けて、皆様からの変わらぬご理解、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



地域探究授業・田植え (5月)



南宮学習塾Xmas会 (12月)



阿南町内企業視察 (6月)